

事業実施報告書

法人名 特定非営利活動法人スポーツコミュニティ久喜

事業名	休日中学部活動の地域クラブ化事業																																																						
助成事業の種類	SDGs 推進事業 パートナーシップ																																																						
1. 事業の目的	中学部活動の地域化の推進																																																						
2. 事業で取り組んだ地域や社会の課題	少子化・人口減少が加速度的に進む中、1つの中学校だけで種目ごとに部活動を維持することは今後は難しい。また、教員の過重労働の解消も緊急な課題である。このことから中学部活動の地域クラブ化に取り組む。																																																						
3. 取り組んだ事業の具体的な内容・実施結果	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">時期</th> <th colspan="4">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7月</td> <td colspan="4">中学部の立上げ準備</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">〃</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td colspan="4">体験会開催準備、陸上部の現状把握（実地調査）、久喜市教育委員会との調整</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td colspan="4">体験会開催、中学陸上部クラブ活動開始</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td colspan="4">中学陸上部活動実施、専門指導員の指導</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td colspan="4">中学陸上部活動、専門指導員の指導</td> </tr> <tr> <td>1月</td> <td style="text-align: center;">〃</td> <td style="text-align: center;">、</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">〃</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td style="text-align: center;">〃</td> <td style="text-align: center;">、</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">〃</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="4" style="text-align: center;">体験会開催</td> </tr> </tbody> </table> <p>○広報実績について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページに中学陸上部部員募集記事掲載、機関紙「スポコミ通信(毎月発行)」でPR ・体験会実施チラシの配布（市内中学陸上部宛）、合計2回 ・体験会や定期活動において、練習場所での横断幕・のぼりによる事業のPRを実施 					時期	内容				7月	中学部の立上げ準備				8月	〃				9月	体験会開催準備、陸上部の現状把握（実地調査）、久喜市教育委員会との調整				10月	体験会開催、中学陸上部クラブ活動開始				11月	中学陸上部活動実施、専門指導員の指導				12月	中学陸上部活動、専門指導員の指導				1月	〃	、	〃		2月	〃	、	〃			体験会開催			
時期	内容																																																						
7月	中学部の立上げ準備																																																						
8月	〃																																																						
9月	体験会開催準備、陸上部の現状把握（実地調査）、久喜市教育委員会との調整																																																						
10月	体験会開催、中学陸上部クラブ活動開始																																																						
11月	中学陸上部活動実施、専門指導員の指導																																																						
12月	中学陸上部活動、専門指導員の指導																																																						
1月	〃	、	〃																																																				
2月	〃	、	〃																																																				
	体験会開催																																																						
4. 事業実施により達成した成果の具体的な内容	<p>・実施期間内の陸上活動等</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">時期(毎土曜)</th> <th style="width: 10%;">回数</th> <th style="width: 15%;">参加者数</th> <th style="width: 15%;">場所</th> <th style="width: 45%;">その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">10月</td> <td style="text-align: center;">4回</td> <td style="text-align: center;">延12人</td> <td style="text-align: center;">久喜高校他</td> <td style="text-align: center;">体験参加17名</td> </tr> </tbody> </table>					時期(毎土曜)	回数	参加者数	場所	その他	10月	4回	延12人	久喜高校他	体験参加17名																																								
時期(毎土曜)	回数	参加者数	場所	その他																																																			
10月	4回	延12人	久喜高校他	体験参加17名																																																			

	11月	〃	延16名	久喜高校他	
	12月	〃	延16名	〃	
	1月	4回	延24名	〃	
	2月	〃	延24名	〃	体験参加16名
	計	20回	延92名	——	体験会参加延33名
	<p>①平均で約20人/回を予定していたが、実際の中学生の参加部員数は約5人/回に留まった。但し、体験会での参加者数（無料）はほぼ想定通りになりました。しかし、部員としての参加には結びつかなかった。</p> <p>②休日部活動が、従来どおり続いている中では参加部員数には現時点では結びつかなかったが、国の実証事業が終了（令和7年度）後には確実に休日部活動の地域化が進むと確信出来た。</p> <p>③体験会の効果として、体験会で習得した練習方法等を平日の中学校部活動において実践した中学が出る等、部活動における指導水準のレベルアップに役立つことが実証され、少数ながら意欲的に陸上競技に取り組む中学生の入部があった。</p>				
5. 費用面での工夫	<p>①体験会参加チラシを教育委員会を通して陸上部関係者に直接配ることが出来たため、久喜市の広報や新聞折込広告に比べて、費用・確実性の面で多大の効果があった。</p> <p>②民間企業の協力を得てトップアスリーの指導を定期活動の中で体験会として無償で行うことが出来た。</p>				
6. 地域社会への還元について	<p>マスコミに働きかけ、テレビ・新聞等に放映・記事掲載され、地域社会とのつながりに努めた。また、事業期間外ではあるが、卒業間近の小学生高学年に中学部活動の地域化についての説明会を開催し、中学部活動の地域化への理解に努めた</p>				
7. 来年度以降どう事業を継続し発展させていくか	<p>令和5年度からの3ヵ年計画後の休日の中学校部活動の廃止までの間は、少数の中学生が学校部活外で参加する以外、部活動の地域化の大幅な進展は難しいが、少子化の加速度的進展により進む多くの部活動の廃部や教員の過重労働解消等の緊急に解決しなければならない課題解決への対応として、2年後の地域クラブ化を目標に練習会中心の活動を来年度は展開し、中学部活動の地域クラブ化を確実に目指していく。</p>				

事業収支計算書

法人名 特定非営利活動法人スポーツコミュニティ久喜

1 収入の部

項 目	予算額 (円) A	決算額 (円) B	増減額 (円) B-A	備考
県助成希望額	500,000	500,000	0	
自己資金	80,374	90,278	9,904	
事業実施による収入等	180,000	46,000	-134,000	
その他	24,000	0	-24,000	
合 計	784,374	636,278	-148,096	

2 支出の部

項目	予算額 (円) A	決算額 (円) B	増減額 (円) B-A	備考
会場費	35,000	5,000	-30,000	
通信運搬費	0	0	0	
旅費交通費	0	0	0	
消耗品費	36,000	13,801	-22,199	
備品費	99,000	99,000	0	
委託費	106,374	89,497	-16,877	
謝金	160,000	169,600	9,600	
人件費	304,000	247,990	-56,010	
その他	44,000	11,390	-32,610	
合 計	784,374	636,278	-148,096	